

男女共同参画推進協議会(第11次)議事録(第4回)

開催日	令和6年11月13日(水) 14:00～15:10	場所	松戸市男女共同参画センター 4階ホール
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・委員: 蒲田委員、齋藤委員、桜井委員、長濱委員、彦坂委員、三浦委員、武笠委員、室園委員、山田(匡)委員、山田(美)委員 ・松戸市: 鈴木男女共同参画課長、事務局(町山課長補佐、藤井主査、宮島(再任用)) 		
<p>◆第4回会議</p> <p>1. 開会(会長挨拶)</p> <p style="padding-left: 20px;">(事務局) 委員総数10名、出席者10名。松戸市男女共同参画推進協議会条例第7条第2項の規定により会議の成立を報告。傍聴の申し出なし。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 次期実施計画の策定に向けた提言について</p> <p style="padding-left: 20px;">(事務局) 配付資料1及び2を基に説明 〔意見交換〕</p> <p style="padding-left: 20px;">(長濱委員) 資料1の4頁2「指標の見直し」②「課長相当職以上の管理職に占める女性の割合」について、やはり50%ぐらいの割合にしてほしいと思うが難しいのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(事務局) 現在、新規採用者における男女比率は、概ね女性の方が少し高いが、40代50代の在職者となると男性の割合の方が高い。実質、課長相当職以上の管理職は40代50代にしかいないため、その年代の女性割合に基づいて目標値を設定すべきと考えた。</p> <p style="padding-left: 20px;">(武笠委員) 例えば、保育士など女性が多い職場ではどうなのか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(桜井会長) 実際、保育士は女性の割合が高く、仮に男性が2割しかいないとしても、50%は管理職にしていきたいと思いますということになると、保育士の男性全員を管理職にしなければいけないなどと誤解されてしまうため、このような書き方している。</p> <p style="padding-left: 40px;">以前は採用も男性が多く女性が少ないといった状況が多かったが、現在は女性も男性も半々近くになっている。このように目標値を決めるのは、いわば「経過措置」であると理解している。</p> <p style="padding-left: 20px;">(室園副会長) 先日の「ゆうまつどフェスタ基調講演会」でも講師からお話があったとおり、採用時はフラットでも、女性は家事や育児等の関係で、年齢が上がるにつれて正規職員の就業率は下がっていく。</p> <p style="padding-left: 20px;">(彦坂委員) 採用時の男女比率が概ね半々になったのは何年ぐらい前からか。</p> <p style="padding-left: 20px;">(事務局) 正確な時期は確認していないが、室園副会長が仰ったとおり、採用時は半々でも、女性が不利な状況が解消されない限り途中で退職してしまう人がでて、その年代の人がなかなか半々にならない。</p> <p style="padding-left: 20px;">(桜井会長) 男女共同参画推進の一番の基本は、この性別役割分業、最近ではジェンダー格差という言い方をするが、これをどう変えていくかということ。そして、これを変えていくことがこの提言全体を貫くものであり、それが各方面で風穴を開けてきた。</p> <p style="padding-left: 40px;">また、働き方に関しては、やはり女性の非正規雇用比率の高さを問題意識として持ち、ここを変えていかなければならない。そのため、3「個別的事項」</p>			

の④として「雇用形態に関する調査及び施策の検討」を追加するとともに、敢えて女性と男性の正規雇用比率の図表を6頁と7頁に入れていただいた。なお、見出しの「雇用形態」という言葉は「働き方」に変えた方がいい。

(室園副会長) 提言案に図表が多くあっていいと思うが、それぞれの図表が何を意味するのかといったキャプションがあるといい。

(武笠委員) 防災に関して、第6次実施計画では「防災会議委員に占める女性の割合」くらいしか指標に入っていないが、近年、気候変動が激しく、災害が多発しているので、防災の分野に女性が参画することの重要性を強調し、女性の意見を取り入れる方策について検討していただきたい。

(事務局) 指標については、武笠委員の仰るとおりだが、今回の提言書3「個別的事項」①「審議会等委員に占める女性の割合の上昇に向けた施策」に、「女性の意見をさらに積極的に取り入れる方策」という一文を追加した。

(桜井会長) 防災については、第6次実施計画でも基本目標の一つの課題に掲げ、重点を置いたところだが、私もこれを更に推進するよう提言書に追加した方がいいと思う。

(室園副会長) 先日地域で実施された防災訓練でも、炊き出しはすべて女性が行っているなど、性別役割分業が垣間見られた。

(桜井会長) 防災に女性の視点を入れていくことの重要性については、東日本大震災をきっかけとして全国的に認知されつつあるなか、熊本地震では、地域のコミュニティに女性の代表が何人かいたので、そういう地域は女性の視点を活かした避難所運営ができたと報告されているが、能登地震ではまた元に戻ってしまった感がある。そのため、防災に関しては、3「個別的事項」に新たな項目を追加するなど検討していただきたい。

また、8頁下段の2つの円グラフについては、外周の年齢区分を除いたものにした方がわかりやすいと思う。あるいはこの図ではなく、国際比較もある性別の「6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間」、または「共働き・専業主婦別の男女の家事時間」などの図表に差し替えてもいいと思う。

(長濱委員) 3頁の1「総括的事項」①に「令和モデル」とあるが、これは何を意味するのか。

(桜井会長) 「働いている夫と専業主婦から成る家庭」を前提とした制度や雇用慣行が「昭和モデル」と呼ばれており、これを基礎に税制や社会保障が組み立てられてきた。しかしながら、現在は共働き世帯が専業主婦世帯の3倍となるなど、働き方や世帯構成が大きく変化してきているので、そのような「昭和モデル」から脱却し、すべての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会、「令和モデル」を目指していきましょうというものと理解している。

(武笠委員) 「『昭和モデル』から『令和モデル』への転換」とすべきか。

(桜井会長) 「転換」という言葉より、「『令和モデル』を目指してください」などとした方がいい。

(山田(美)委員) 8頁の3「個別的事項」⑥「心身の健康を支援する体制の整備」に、「女性は、月経困難や更年期などホルモンバランスの変化等～」とあるが、更年期は男性にもあるので、「更年期」のところを「妊娠、出産」に変更していただきたい。

(桜井会長) 提言書の大筋について、承認をいただきたいと思うがいかがか。

[全会一致にて決定]

(桜井会長) 後日副会長とともに市長へ提出させていただく。

(3) その他について

(事務局) 提言書について、ほかに修正点等があれば1週間以内に連絡願いたい。会長に確認後、修正したものをもって最終版とさせていただきます。

第11次推進協議会については今回が最後の会議となるが、来年度設置する第12次推進協議会では、第6次実施計画の進捗評価のほか、5年ごとに実施する意識調査や第7次実施計画の策定などの議題を予定している。

(桜井会長) 以上で、松戸市男女共同参画推進協議会第4回会議を終了する。

【配付資料】

次 第

資料1 松戸市の男女共同参画推進に関する提言書(案)

資料2 提言案に関する意見

資料3 男女共同参画推進協議会 委員名簿

参 考 男女共同参画プラン第6次実施計画

参 考 男女共同参画プラン第6次実施計画〈概要版〉